退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信　No, ２０３

２０２２・７・１　　編集　齊藤徳蔵　　発行　町田静隆

新入会員歓迎　「ニジマス釣り会」のお知らせ　・・・　世話人会　1
解説　　「イサキ釣り」　・・・・　世話人会　2
第２回「アジ釣り会」特別会１泊イサキ釣り会に中止のお詫び・・　世話人会　3
第３回　「LT五目釣り会」のお知らせ　・・・　世話人会　4
第４回　「イナダ釣り会」のお知らせ　・・・　世話人会　4

新入会員歓迎「ニジマス釣り会」のお知らせ　世話人会

九月は海は暑いので、涼しい渓流釣りを計画しました。貸し竿を利用するので、クーラーボックスだけ持参すればＯＫです。ニジマスを釣った後、こばいて、大きなお風呂に入浴（タオル持参）し、昼食を兼ねて歓談します。

記

一、期　日　八月二日（火）　　小雨決行

二、釣り場　大月（金の森山荘）　山梨県大月町真木六一八八

電話　〇五五四・二三・一〇二一

中央線　高尾駅　七時四七分―大月駅　八時二八分

三、集　合　大月駅改札口付近　八時四〇分　バスで「金の森山荘」へ向かう。

四、参加費　八五〇〇円（マス釣り・貸し竿・仕掛け・エサ・氷・入浴・食事・ビール代込み）※新入会員五〇〇〇円

五、内　容　・ニジマス釣り　九時十分～一一時三十分
・マスのさばき・入浴　一一時四十分～一二時三十分
・食事・懇談　十二時三十分～十三時三十分

十三時四十分　送迎バスで大月駅に向かう。

六　釣り方　指定されたダムで釣る。（十匹くらい放流してくれる。）　ハリにエサ（イクラ三粒、またはブドウ一匹）をつけ、底をたたくように上流から流す。よどみやたまりで釣れることも多い。釣れなくなったら、上流、下流の人のいない場所で釣る。申し込みはがきで

解説「イサキ釣り」

世話人会

イサキ釣り会が中止になり、残念です。そこで、イサキについて解説いたします。

イサキで十五ｃｍ以下の幼魚は、イノシシに似た三本の縦じま模様があり、ウリンボウと呼ばれます。成長すると、しま模様は消え茶褐色になります。

イサキ釣りの魅力は、何と言っても強い引き味。いきなり竿先が持ち込まれるようなアタリが出るので、初心者は驚くことが多い。

釣り期は、春から秋（六・七月はエサ追いも活発で食べても美味しい）。「イサキはタナを釣れ！」と言われるように、正確なタナで釣ると釣果が上がる（リールのカウンターは狂いが多いので、道糸のマーカーで水深を計る）。

・釣り方

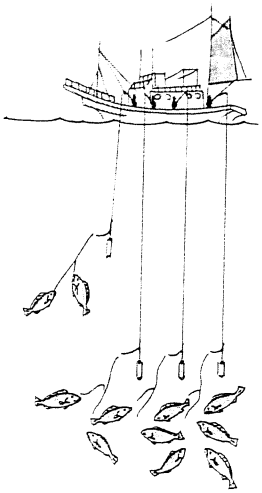
コマセ籠にコマセを八分目ほど詰める。エサはオキアミの尾を取ってハリに腹掛けにする。

サミングしながら仕掛けを下し、指示ダナの二～三ｍ下で止める。下を向けた竿先を強く上下させてコマセを出し、ゆっくり竿を上げて仕掛けを撒いたコマセの中に入れる。アタリが無ければ竿先を下げて一ｍ分リールを巻き、そこでコマセを撒く。これを繰り返し指示ダナの二～三ｍ上まで探る。

・アタリと合わせ、取り込み

アタリは竿先に強く出る、静かに竿を持ち上げるとハリ掛かりするので、あとは、ゆっくり一定の速度でリールを巻く（イサキは口が弱いので、強引なやりとりは禁物）。水面近くまでイサキを上げてきたら、竿掛けに竿を置き、手で糸を手繰り寄せてコマセ籠をコマセの入った器に入れる。この時にイサキに強く引かれたら、無理せずに、少し指の間で糸をすべらせながらやり取りをして、ゆっくりと取り込む。

足もとにバケツを用意し、針に掛った三匹の魚の一匹はバケツの先に置き、二匹目はバケツの中に入れ、三匹目はバケツの手前に置き、糸が絡まないようにする。



針からはずした魚は海水の入ったバケツに入れ、生きているうちに氷と少量の海水（海水を入れると〇度以下になる）の入ったクーラーボックスに移す。

・塩焼きで食べると美味しい

下処理は、きれいにウロコをそぎ落して洗い流し、エラと内臓を取り出す。大きめのサイズなら、三枚おろしにして、小骨は毛抜きを使って抜き、刺身にする。頭を付けたまま塩を振って塩焼きで食べると美味しい。焼くときには、裏表に包丁で切り目を入れておくと、火が通りやすくなる。イサキの皮は堅いので、取ってから食べるのがよい。

（藤本）

令和四年度　第三回「アジ釣り会」　特別会「一泊イサキ釣り会」中止のお詫び

町田　静隆

まず、五月十三日に予定しておりました第三回「アジ釣り会」の中止に至った経緯をご説明し、改めて参加を希望された会員の皆様へのお詫びを申し上げます。

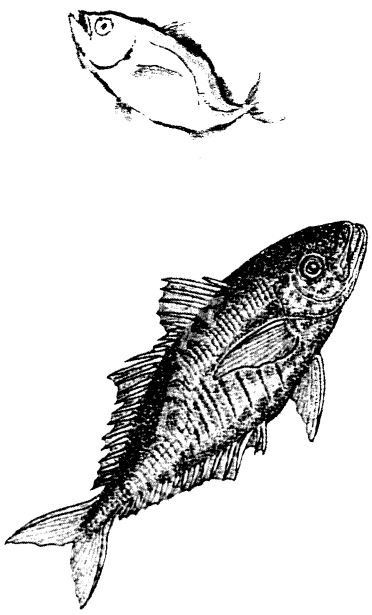
今回の「アジ釣り会は」は、一昨年の荒川屋の半日乗り合いでの実施と違い、金沢漁港の黒一丸での仕立て釣りで実施の予定でした。しかし、週間天気予報を見ると、十三日は、一日中雨の予報となっており、会員の何人から天気の悪さを理由に、不参加の連絡をいただいたこともあり、世話人とも相談して、中止を決定しました。本釣りクラブは、超高年齢集団ですので、一日中雨に打たれての釣りとなれば、体調不良をきたす可能性も高く、雨では釣果も期待できません。何より、釣りは晴れた海の上での爽快さを味わうためのものです。したがって、やむなく中止の決断をいたしました。コロナがほぼ収まって、二年ぶりの釣り会を期待されていた会員の皆様には誠に申し訳ないと思い、お詫び申し上げます。

そこで、六月の一泊イサキ釣り会に期待しておりましたが、一泊での釣り会は、最近とみに人気がなく、参加希望者は四名のみでした。ところが、釣行の一週間ぐらい前になって、そのうちのお一人から参加できなくなったというご連絡をいただきました。人数が四人以下になった場合、船宿にもご迷惑をかけることから、その釣りは、中止にするという世話人会の申し合わせもありますので、仁木丸に連絡を入れ、中止の申し出をしました。なお腰越の秋田屋でも、仕立てで出るなら最低六人は集まって欲しいと申し入れがあります。四人以下での仕立てが可能なのは、金沢漁港の「黒一丸」だけです。ただこれも燃料代の高騰でいつ変わるか分かりません。以上がイサキ釣りの中止となりました経緯です。

こちらも参加を希望されていた会員の皆様を裏切ることになり、申し訳ありませんでした。

なお、本会報にもご案内がありますが、七月のＬＴ五目釣り会は、すでに秋田屋に予約の連絡を入れてあります。会員の皆様の振るっての参加をお願いいたします。また八月のニジマス釣り会では、涼しい渓流での釣り会やおいしい昼食や温泉も味わえます。会員以外の方にも声をかけていただいて、ぜひ、盛会にしたいと思っております。

また、九月のイナダ釣りでは、日並みが良ければ、二時間ぐらいでクーラー満杯の入れ食いの釣りが楽しめます。（ちなみに一昨年がそうでした。）こちらもぜひ大勢の参加をお願いいたします。



第三回　「ＬＴ五目釣り会」案内　　世話人会

ＬＴ（ライトタックル）で、この時期釣れる魚をいろいろ狙います。アジの大型や、運が良ければアマダイの良型が釣れることもあります。本命が決まっていない釣りだけに、何が釣れるか期待は大きいです。

記

一、期　日　七月十二日（火）　　小雨決行
二、船　宿　腰越「秋田屋」
　　電話　〇四六七・三一・一二八九
　・江ノ電「腰越」　徒歩七分で腰越漁港へ
　・小田急「片瀬江ノ島」　七時二〇分　送迎あり
三、集　合　七時三〇分
四、参加費　一二、〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷込み）
五、携行品　クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。
六、釣り具　竿（負荷四十号）。中型リール。中型片テンビン。
　　竿掛け。サニー籠。おもり四十号。
七、釣り方　左に示した対象魚の水深でコマセをまき、アタリを待つ。表層付近・・ワカシ、ソーダガツオ、カツオ
　　底から十五メートルまで・・イサキ、イシダイ、アジ、サバ
　　底から三メートルまで・マダイ、クロダイ、アマダイ

※申し込み　同封のハガキで申し込んでください。

第四回「イナダ釣り会」のお知らせ　　世話人会

ブリで四十センチくらいに成長したものをイナダといいますが、引きが強く、食べておいしい魚です。回遊に出会うと、たくさん釣れるので楽しみです。

記

一、期　日　九月十二日（月）
二、船　宿　腰越「秋田屋」　電話　〇四六七・三一・一二八九
　　江ノ電「腰越」徒歩七分で腰越漁港へ
　　小田急「片瀬江ノ島」　七時二十分　送迎あり
三、集　合　七時三十分
四、参加費　一二、〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）
五、釣　具　竿（負荷五〇号）　または手釣り用具。リール（小型電動）。中型天秤。ステカン五〇号。ゴムクッション（二ミリ×五〇センチ）
六、携行品　クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。
七、釣り方　①　竿釣り：　船長の支持するタナまで下ろし、竿いっぱいしゃくりあげ、アタリを待つ。上げた分までリールを巻き上げ、またしゃくりあげ、アタリを待つ。上の層まで繰り返し、アタリがなければ、巻き上げてコマセを詰め替える。
　　②　手釣り（八の字釣り法）：右手で幹糸を手探り上げ素早く左手に持ち替え、幹糸を掴んで手探り上げる。　※同封のハガキで申し込んで下さい。

退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信

NO, ２０４

２０２２・１０・１

編集　齊藤徳蔵　　会長　町田静隆

随想	Ｋ先生のこと	・・・・・・・・・	町田静隆	1
第４回	「イナダ釣り会」の報告	・・・・・・・・・	世話人会	2
お詫び	各種釣会中止等のお詫び	・・・・・・・・・	世話人会	3
第４７回	「アジ釣り大会」の案内	・・・・・・・・・	世話人会	4
第５回	「アマダイ釣り会」の案内	・・・・・・・・・	世話人会	4

Ｋ先生のこと

町田　静隆

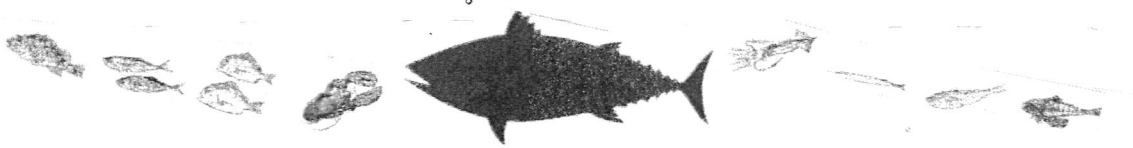
私の一番の趣味は、海釣りである。人生で釣りに出会えたことは本当に幸せなことと、思っているので、その出会いについて、お話ししたい。

以前から漠然と釣りをしたいという願望はあったが、きっかけをつかめずにいた私は、平成元年四月、江戸川区の都立高校に異動した時、国語科の先輩のＫ先生に出会ったのである。Ｋ先生は釣りのエキスパート、それも中途半端な釣り好きのレベルではなかった。幼稚園児のお子さんが、「お父さんの仕事を絵にかきましょう。」という課題に、教師の絵と漁師の絵を両方描いたというくらいに釣りにのめり込んでいる人であった。全くの初心者であった私は、一から教えを乞うことができる師匠に出会えたのだ。道具の選定から魚のさばき方まですべて教わって、Ｋ先生に同行させていただき、最低月一回ペースで釣りに出かけるようになった。体育科と社会科の動向がいたので毎回四～五人での釣行であった。ホームベースは銚子の「透容丸」という船宿で、ハナダイやイナダ・カンパチなどの青物が本命であった。それ以外でも、神奈川の早川や、三浦半島、房総の布良や竹岡、にも出かけた。魚種も真鯛、カツオなどを中心に狙った。

平成十一年、管理職要因となり異動した後、管理職時代の合計十五年間は、釣竿をしまったままになったが、平成二十五年に定年退職すると同時に、東京都退職校長会の釣り部会に入会し、十五年ぶりの釣りを再開した。

釣りクラブでは、月一回のペースで釣り会を行っており、金沢八景や浦安などの近場から、船を仕立てて、アジやシロギス、イシモチなどを釣りに出かけている。年二回は伊豆の下田まで一泊の釣り会も行っている。一昨年四月からはクラブの委員長を仰せつかり、日々釣りの計画を練っているところである。

釣りが好きな方、三十年前の私と同じ様にやりたいと思いながらその機会がない方、校長でなくても、同行の士は準会員として歓迎しますので、どうかご連絡ください。



第四回「イナダ釣り会」報告

世話人会

本年度になって第一回シロギス釣り会から、特別会　新入会員歓迎会「ニジマス釣り会」までコロナ禍のため、また天候不順のため、五回すべて中止になった。九月一二日(土)第四回「イナダ釣り会」が予定されている。町田会長からのお知らせでは一〇人の参加予定である。久しぶりの大人数で嬉しい。しかし二日ぐらい前から沖縄の方で大型台風が猛威を奮っているニュースが流れている。「今回もだめかな」と半分諦めてしまう。中止の知らせが来ないのを願いながら準備をした。

三時過ぎに起き、外を見た。雨は降っていない。風も殆どない「よし！これならできる」と思い支度をする。四時半に家を出て電車に乗る。五時頃明るくなってきた。二日前の中秋の名月がまだ丸く美しい。鎌倉で江ノ電に乗り換える。七里ガ浜で観る海原は波もない。腰越で下車し漁港に着く。まだ七時前だが六名の方が来ている。お二人の方が急用で来られず、八人の参加者である。新聞を見ると相模湾では今シーズンはまだイナダは釣れていない。しかし今朝のスポーツ新聞釣り欄では、腰越でイナダが一～十一匹が釣れているとでている。期待を持てそうな気がする。

八時十五分出船、富士山、江の島が並んで美しく見える。九時頃釣り場に着く。イナダを狙っているようだ。興奮してきた。

第一投、間もなく、軽いアタリが来た。上げているうち、重さを感じなくなりばらしたかなと思ったが二十㎝ぐらいのイトヨリダイが上がってきた。その後ほぼ全員と言っていいぐらいいろんな魚を釣り上げている。サバが多く釣れている。あちこちでバタバタと跳ねる音がする。その分お祭りも多い。私も町田会長に何回も迷惑をかけた。アジも多くつれている。殆どが三十㎝前後の大物で、黄金アジと言われる立派なものである。私は初めて目にし、耳にしたイトヨリダイも多く釣れた。本命のイナダも多くの人が釣っているように思えたが、集計表を見るとどなたも釣っていないのは意外だった。十一時半頃まで同じ場所で釣ったが、必ず誰かが、何かを釣っているぐらい好調であった。

その後二か所釣り場を変えたが初めての場所ほどの釣果はなかった。一時前に終了、帰港後、反省会を行った。本命のイナダこそ釣れなかったが、多くの釣果と、久し振り釣り会ができたことに全員満足気であった。

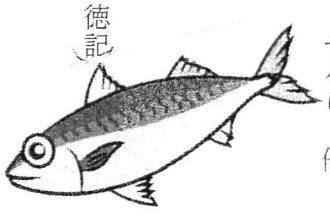
十月十四日(金)第四十七回アジ釣り大会には多くの人を誘って再会しようと約束して解散した。

※追記　自慢しようと釣った魚を台所に並べたが、今話題の『アニキサス』のため歓迎されなかった。しかしシメサバ、みそ煮、塩焼き等、サバを料理したが驚くほど美味であった。

釣果　田中　イトヨリダイ2　カイワリ1　アジ2　サバ6　他
大山　アジ5　イトヨリダイ3　サバ7
町田　アジ5　サバ6

釣座　右舷　大山　齊藤　町田　田中
左舷　藤本　佐藤　佐藤　岩森

（齊藤　徳記）



令和四年度　「一泊イサキ釣り会」・第二回「ＬＴ五目釣り会」・新入　会員歓迎「ニジマス釣り会」中止のお詫び

町田　靜隆

六月十二・十三日に予定しておりました一泊イサキ釣り会ですが今回三名の参加希望者しかなく、三名以下での釣行は中止するという内規に従って中止やむなきに至りました。さらに七月十二日（火）に予定していました「ＬＴ五目釣り会」及び、八月六日（金）に予定しておりました、新入会員歓迎「ニジマス釣り会」を中止した経緯について、説明とお詫びをいたします。

今年の「ＬＴ五目釣り会」は一昨年同様、腰越の秋田屋から出漁の予定でした。また「ニジマス釣り会」は昨年同様、山梨県大月の「金の森荘」での実施予定でした。

しかし、新型コロナウイルスのデルタ株による第七波といわれる感染拡大に伴い、長時間の移動を伴う移動や会食を伴う釣り会の実施はどうかという会員の方々の声も大きく、こちらも中止のやむなきに至りました。

幸い、九月に実施する「イナダ釣り会」では、日並みが良ければ爆釣というイナダ釣りは毎年会員の皆様の期待も大きく、今回も久しぶりの十人の参加希望をいただいておりました。都合により二名のキャンセルは出ましたものの、詳しくは齊藤会員の報告に譲りますが、八名参加での釣り会を実施できました。今年度になって、第一回「シロギス釣り会」以来、理由は様々でありましたが、すべての釣り会は実施できず、フラストレーションが溜まりに溜まっておりましたのを、ようやく解消できた気分です。

十月には、第四十七回となる「アジ釣り大会」があります。また、十一月には、「アマダイ釣り会」がありますので、ぜひご参加いただきたいと思います。（それぞれの会のご案内がありますので、ご覧ください。）

会員の多くの方々も、四回目のワクチン接種が進んでいると拝察いたします。安全な釣り会となりますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

訃報

千葉　康算様におかれましては七月十日ご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。

千葉先生には長年　千代田会釣りクラブ世話人としてご活悪いただきました。特に会計担当としてご尽力されました。

ありがとうございました。

第四十七回　「アジ釣り大会」案内　世話人会

今年も千代田会釣り会恒例のアジ釣り大会を開催します。船宿は昨年と同じ「黒一丸（くろかずまる）」です。車の方は金沢漁港（金沢区海の公園）に集合、電車の方は、金沢八景を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」の前に七時二十分集合で、若船長が車で迎えに来てくれます。

記

一、期　日　十月十四日（金）　小雨決行
二、船　宿　金沢漁港「黒一丸」　京急金沢八景下車、車で一〇分（送迎あり）電話　０４５・７８１・０６９１
　駐車料　一日三〇〇円？
三、集　合　七時三十分　電車の方は、ローソン前七時二十分
四、参加費　一万二千円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷込み）
五、携行品　クーラー昼食、飲み物。雨具、帽子、タオル。
六、釣り具　竿（ＬＴ用。貸し竿有り）中・小型リール。竿掛け
　イワシミンチ用コマセ籠（三十号）中型方片天秤。ゴムクッション（三十㎝）。
七、釣り方　イカタンや青イソメの餌を付け、コマセ籠にミンチを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二ｍ巻き上げてコマセを巻く。さらに一ｍ巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり巻き上げ取り込む。
八、表　彰　アジの数で一位～三位。大物賞三名　アジ以外の魚種
※　申し込み　同封のはがきに六十三円切手を貼り申し込む。

第五回　「アマダイ釣り会」案内　世話人会

アマダイは高級魚として有名です。それだけに数多く釣ることは難しい魚種ですが、それだけ釣り心をそそる魚です。三枚におろして昆布で一晩締めたさしみのおいしさは格別です。

記

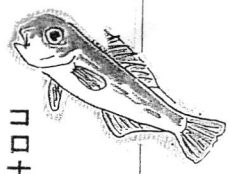
一、期　日　十一月十一日（金）　小雨決行
二、船　宿　腰越「秋田屋」　電話　０４６７・３１・１２８９
　①　江ノ電「腰越」　徒歩七分で腰越漁港へ
　②　小田急「片瀬江の島」七時二十分　送迎あり
三、集　合　七時三十分
四、参加費　一万二千円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）
五、携行品　クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。
六、釣り具　竿（負荷五十号）。中型リール（電動があれば望ましい）中型片テンビン。竿掛け。サニー籠。錘五十号
七、釣り方　アマダイ釣りは、コマセを使わず、片天秤仕掛けで釣る。オキアミのエサをつけて投入。海底近くを狙うので錘が底に着いたら誘いを兼ねて、ハリスの長さだけ錘を上げ、海底をたたくように下ろす。絶えず小突くことがひつようです。
※　同封のハガキで申し込んでください。

退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信　NO, 205

２０２２・１２・１　　編集　齊藤徳蔵　　会長　町田静隆

第５回	「アマダイ釣り会」の報告	・・・・・・・・・	世話人会	1
第４７回	「アジ釣り大会」の報告	・・・・・・・・・	世話人会	2
１泊	「ワラサ釣り会」の案内	・・・・・・・・・	世話人会	3
第６回	「ワカサギ釣り会」の案内	・・・・・・・・・	世話人会	3
釣り部	「研究・懇談会」の案内	・・・・・・・・・	世話人会	4
編集委員より	お願い　釣り情報	・・・・・・・・・	世話人会	4



第五回「アマダイ釣り会」報告　世話人会

コロナの感染者は減らないが、天気予報は好天と述べていた。

十一月十一日朝、腰越港の駐車場で参加者が、釣りの話などで盛り上がっている。

七時二十分、市川、岩森、田中、鳥海、町田、藤本の六名が集合。

七時三十五分、出船。晴天で温かく、風も弱く、波も小さかった。富士山は、うすい靄がかかっていたが雲ひとつなくきれいに見えた。遠くに七隻の釣り船が見える。

七時五十分、江の島沖に到着。近くに江の島が見えた。船長の合図で第一投。反応は無く、八時五分、初めてのアタリでシロギスの大きいのをゲット。八時十五分、アマダイの小をゲット。

八時三十分、船は移動を開始。アタリが無く、三回移動を繰り返す。江の島がどんどん遠くなっていく。その後、カレイイトヨリダイ・アマダイをゲット。十二時の異動後、アマダイやイトヨリダイが沢山釣れた。少し早いが、十二時三十分沖上がり。貧漁であったが、全員アマダイをゲット出来て良かった。

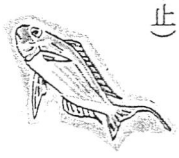
魚は、さしみ・塩焼き・煮物で食べた。妻が「おいしい」と言った。

（秋田屋は、腰越港の中の小屋で受付や案内をし・駐車料も返金してくれたが中止。また釣りの後、お茶やお菓子で接待も中止）

釣果　アマダイ　鳥海・藤本（５）　岩森・田中（４）

外道（船中）　イトヨリダイ（９）　カレイ（３）

サバ（３）　マゴチ（２）　カレイ（２）



右舷　市川・町田・鳥海　　左舷　藤本・田中・岩森

（藤本記）

第四十七回　「アジ釣り大会」報告　　世話人会

十月十四日、金沢漁港内の「黒一丸」に仕立てをお願いしてアジ釣り大会を開催した。コロナ禍で不安もないわけではないが、先ずは開催できたことが何よりも嬉しいこと。今年になってからは九月のイナダ釣りに次いで二日目になるが、このアジ釣り大会は歴史のある特別な大会で、より気合の入る釣行の一つである。今回は七人の会員が参加した。

当日の朝、天気予報に違わず小雨だったが、七時半過ぎに全員が揃ったころには雨も上がり、開会式。町田会長の挨拶に続き藤本会員から競技上の諸注意が伝えられ開会式が終了。氷をクーラーボックスに入れて八時頃に出港。新しい船で前後にトイレがある。使いやすそうだ。

出港後まもなくして最初の釣り場に到着した。例年通り、針先にはイソメをチョン掛けしてコマセを撒く。一投目から着底と同時に引きが入る。コツコツと当たるので今日は釣果が期待できそうだ。ただ予想外のことが多々あるもので厄介なことが…、何と底にはフグが多いらしく、とにかく着底と同時に引きがあっても糸を切られることが重なり仕掛けを六回も付け替えなければならない羽目になったこと、それに併せて船のローリングが激しくて船酔いに悩まされるようになった。この二重苦を抱えながらの釣行になった訳だが、同じ右舷に席をとる斎藤会員と藤本会員を見ても淡々と釣りに集中している様子で、船べりに這いつくばるようにして耐えている私とは大違い。何とも恥ずかしい有様、記録係を仰せつかりながら自分のこともできない状態で申し訳ない気持になりました。

昨年のアジ釣り大会では比較的小ぶりのアジが多かったように記憶していますが今回は大型のアジがよく釣れている。最初の釣り場から移動して次の釣り場へ。やっとフグから解放されて糸が切られることが無くなった。早速、町田会長が三十センチオーバーの大アジを釣り上げた。田中会員は順調に釣果を伸ばしている。隣の斎藤会員は見事な真鯛を釣り上げた。何と一本針での釣果だったとか…。

今回の釣りを通して棚のわずかな違いがアジの釣果に影響したように感じます。棚どりは本当に大事で、私の感覚ではおそらく一、三メートルから二、六メートルあたりでアジがよく釣れたような気がするものの、ただ底の起伏が激しいことや潮の流れが速かったりで底どりがなかなか難しかった。

今回の釣り場は二ヵ所、一時過ぎには納竿、一時二十分ころに帰港した。二人が一組になって釣果を確認し記録用紙に記入する。続いて閉会式。藤本会員から本日の結果発表。町田会長が一位から三位の会員に賞品の盾を授与。今年優勝したのは藤本会員で感想を話していただきました。最後に斎藤会員から講評をいただき閉会式が終了。

皆様、お疲れ様でした。

帰宅後に早速アジをさばく作業開始。大型のアジは調理しやすい。刺身、タタキ、塩焼きも美味しいが自家製の干物が最高。十%ほどの塩水に一～二時間ほど漬け込んでから一日ほど陰干しにする。美味しさが凝縮した飴色の絶品に…。骨まで食べられる。苦しかった船酔いも忘れて今度は美酒に酔う。そして来年はコロナ禍が終息し、また開催できることを願う。

お世話になった黒一丸の皆様、有難うございました。

・成績発表（藤本）　①藤本十八　②鳥海十六　③市川八

大物賞　（フグ）田中・（真鯛）斎藤・（アジ）町田

※釣果　：　アジ平均十五尾

外道　：　真鯛、フグ、カサゴ、イシモチ、

（なお、昨年の入賞者は今年は釣果にかかわらず入賞の対象外になります）

（右舷）鳥海・斎藤・町田・市川

（左舷）田中・藤本・岩森

（鳥海　記）

特別会「一泊ワラサ釣り会」案内

世話人会

十二月はワラサ（六十cm級）の回遊魚が期待できます。運悪く回遊していない場合は、いつでも大量のイサキ釣りに変更します。

昨年は強風のため、やむなく中止しましたが、改築なったブルー爪木での、おいしい夕食と気持ちいい温泉付きです。

記

一、日　時　十二月十一・十二（日・月）

二、集　合　東京駅　九番線　踊り子一一五号　一号車指定席
東京駅（十二時〇〇分）→横浜（一二時二四分）→小田原（十三時一分）→下田（十四時四十八分）

三、参加費　二三〇〇〇円（宿泊費。乗船料。仕掛け・氷代）

四、携行品　クーラーボックス。一四日の朝食。飲み物。他

五、釣り具　竿（負荷九〇号）。電動中型リール（電源は船に有）サニー籠百号（無料貸し出し有）。大型天秤。ゴムクッション（三ミリで一メーター）

六、釣り方　指示されたタナより一m下ろし、コマセをまいてタナまで巻き上げる。そこでコマセをまいてアタリを待つ。アタリがあったら、ゆっくり巻き上げ、網ですくう。

※ワラサ釣りに参加を申し込まれる方は十二月六日までに町田先生に直接電話で申し込んでください。

※ワカサギ釣りを申し込まれる方はハガキで申し込んでください。

第六「ワカサギ釣り会」案内

世話人会

寒い一月は、温かいドーム船でワカサギ釣りをやることになりました。クーラーボックスだけで参加できます。

記

一、日　時　一月一七日（火）

二、場　所　河口湖ドーム船・浅間丸〇九〇―八八七八―四四二二
山梨ハイヤー　〇五五五―二二―一八〇〇
東京駅（六：三四）→御茶ノ水（六：三八）→新宿（六：四八）→高尾（七：三二）乗り換え（七：四七）→大月（八：三五）→河口湖（九：二六）タクシーで六番ゲート。ボートでドーム船へ
（帰り）川口駅（一三：三〇）→高尾（一五：一〇）
乗り換え（一五：三〇）→東京（一六：三〇）

三、参加費　九〇〇〇円（乗船料・釣り道具・エサ・タクシー代込）

四、携行品　防寒服装　クーラー（氷持参）昼食　飲み物　タオル

五、釣り方　①餌を付け、投入し、錘を着底させる。五センチくらい持ち上げて止め、活性の状況を見る。②アタリがなければ、竿先を十センチ位の幅で上下させる。（シェイキング）。誘いを十秒位続けたらピタッと止め、食いつくタイミングを与える。③アタリがない場合はタナを一〇～二〇センチ上げてシェイキングを繰り返す。

六、料　理　そのまま水洗いして、拭き取り、天ぷら、酢の物。

釣り部　「研究懇談会」　案内　　世話人会

会場は、池袋南口（東武デパート南口）の「IKE・BIX」（元の勤労福祉会館）です。二年間コロナ禍で実施できずにいましたので、皆様も積もる話もあると思います。

内容は

・今年の釣り会の状況報告
・会員の皆様の一言
・魚介類のクイズ（一位から三位、商品あり）
・来年の釣り会への要望等

の話し合いを行う予定です。日頃の釣り会では、話をする間もなく解散となってしまいますので、会員の皆様のさまざまなご意見を伺いたいと思っております。

記

一、日　時　令和五年二月四日（土）　十三時～十六時
二、会　場　IKE・BIX（池袋駅より徒歩十分）
　　電話〇三―三九八〇―三一三一
三、参加費　二千円（飲み物、お菓子代等）
　　当日会場で徴収させていただきます。

※　申し込みは同封のハガキで申し込んでください。

お願い　・　釣り情報　　世話人会（編集委員）

同封のハガキは、前号（会報二〇七号）と一緒に送ったものです。今号も原稿が足りず、どなたか送ってくださるかなとお待ちしていましたが一通も来ませんでした。大変困っています。よろしくお願いします。今後原稿が足りない時は、今まで掲載した、原稿の中から選んで再度掲載することもあります。ご承知ください。

サンケイスポーツ新聞の釣り欄から気になっている船宿の釣り情報を紹介します

今浦安・行徳地方のアジ釣りがすごい！

吉野屋（浦安・電話〇四七―三五一―二五四四）タチウオ・イシモチ釣りで行った船宿です。アジ15～48㎝・80～210匹

伊藤遊船（行徳・電話〇四七―三五八―五七七四）　ボートでハゼ釣りをする船宿で有名です。アジ15～34㎝・48～211匹

スミイカ、カサゴ等もやっていますがアジの釣果は驚くほどです。

十一月二十六日のサンケイスポーツの記事です。特に伊藤遊船はここ十日間アジの釣果は同じように続いています。

木更津沖、川崎沖が漁場だそうです。私も挑戦したいなと思う時があります。２００匹とはいかなくても夢の一束超えに挑戦してみたい気がします。

（齊藤　徳記）

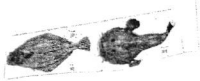
退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信

NO, 206

2023・3・1　　編集　齊藤徳蔵　　会長　町田静隆

釣り部	「研究・懇談会　」の報告 ……	世話人会	1
第6回	「ワカサギ釣り会」の報告 ……	世話人会	2
クイズ	「魚・魚類に関するクイズ」 ……	世話人会	3
1泊	「ワラサ釣り会」中止のお詫び ……	世話人会	3
第7回	「イシモチ釣り会の」お知らせ ……	世話人会	4
令和5年度第1回「シロギス釣り会」のお知らせ……		世話人会	4



釣り部　「研究懇談会」　報告　　世話人会

二月四日　釣り部　「研究懇談会」を実施した。

三年ぶりに来た「IKE・BIZ」は大変美しい。参加者は町田会長・藤本・鳥海・蔵本・市川・齊藤徳の会員、六名である。

鳥海会員の司会で、藤本会員の始めの言葉、町田会長のあいさつ、そして乾杯と進んだ。横浜崎陽軒のシュウマイ弁当と一緒に、ビールでお腹と喉を潤した。大変おいしい。雑談から、自然に本題へと進んだ。二ページに町田会長が記しているが、始めて実施できたワカサギ釣りが話題になった。参加者の藤本、町田氏の話を他の会員が羨ましがって聞いていた。次の話題が釣り会の事である。

船宿はどうするか、釣りの参加者が減ってきた現在では、少人数でも仕立ての実施が基本である。町田会長が交渉で苦労している点である。釣りの参加者を増やすこと、部員を増員以外に考えられないが、大変難しい。海釣り公園等の丘釣りや、ボートでのハゼ釣り等もでたが結論には至らなかった。「二月二一日クラブ委員長会を実施するが第二回会員研修会(11／17)でクラブ発表会を提案したい。部員を増やすためにも発表応募して欲しい」の声もでた。

釣る魚種はアジ、イナダ、は参加者が割と多い。シロギスつりも無理がきいて実現できる。他は今後も検討していくことになった。

本年も藤本会員の出題の「魚・貝類のクイズを」実施した。

一位、町田氏　二位(同点数)　蔵本氏　鳥海氏だった。大変楽しかったので、別なクイズを作ってもらった(二ページ)。挑戦をしてください。

やや少人数だったが充実した楽しい会だった。

第五回「ワカサギ釣り会」報告

世話人会

一月一七日（火）に、「ワカサギ釣り会」を行った。昨年度も一昨年度も実施予定ではあったのだが、コロナ禍でいずれも取り止めとなっていて、今年度初めて実施する会であった。七時二六分出発の河口湖直行の電車に乗り込んだ。高尾から大月まで約一時間というのんびりした電車旅となった。幸い天候は快晴で、富士山が間近に見える。素晴らしい釣り日和の天気となっていた。

河口湖に着くと、予約していたタクシーに乗り込み、河口湖大橋の駐車場に乗り付けた。岸には船長が待っていて、モーターボートに乗って約二，三分でドーム船に着いた。この釣りのいいところは、暖房の効いたドーム型の船から釣れるというところだ。

船には三人の釣り座が用意されていて、藤本会員、岩森会員、それと私が並んで座った。係の人から釣り方を教わる。針はすでにエサ（サシ、ハエの卵を赤く着色したもの）が付いていて、そのまま糸を出して、着底したら糸ふけを取ってしばらく待つ。すでにブルブルという当りがあり、ちょっと合わせて追い食いを待つ。巻きあげると、ワカサギをクシ状のところにかけ、糸を引っ張るとそのままワカサギが下に落ちるという仕組みであった。十時前くらいから釣り初めて、すぐ二十匹くらいかかった。

ただ、ハリとエサが小さいので、エサを付けるのが大変だった。眼鏡を外して近づけないと、ハリがどこにあるか分からない。また仕掛けも細くて、油断するとすぐに手前祭りして、ぐしゃぐしゃになってしまう。また、回遊性なので群れがいなくなると、しばらく当たりが止まる。その繰り返しで、三人とも、三，四十匹は釣ったであろうか。

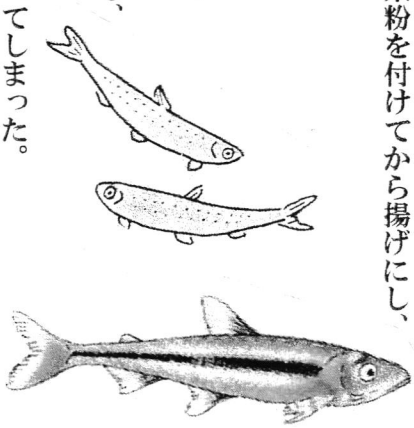
一二時半に下船しようとすると、船長が定置網で捕ったというワカサギをクーラーにどっと放り込んでくれ、その結果、何匹釣ったかは、わからなくなってしまったのだが。

帰りは河口湖で、特急に乗り込んだ。富士山のビューポイントではゆっくりと走ってくれて、また富士山を堪能した。

家に帰ると、そのまま片栗粉を付けてから揚げにし、そのまま食べた。

ワカサギのいいところは、内臓やうろこを取る必要がなく、全然手間がかからないところだ。

半分はそのまま酒の当てにし、残り半分は佃煮にして翌日には全部食べてしまった。



町田記

魚・貝類のクイズ

藤本

上の魚や貝の名前の語源は、下のどちらが当てはまるか、（　）に記入して下さい。（解答・解説は次号で）

鯛（　）	大威	平魚
鮪（　）	眼黒	間黒
鰹（　）	堅魚	活魚
蜆（　）	縮貝	潮地味
鯵（　）	朝地	味
鯖（　）	青葉	小歯
秋刀魚（　）	狭真魚	参魚
鰯（　）	弱し	岩生
浅蜊（　）	漁る貝	浅利
鮫（　）	早目	狭目

特別会　「一泊ワラサ釣り会」　中止のお詫び

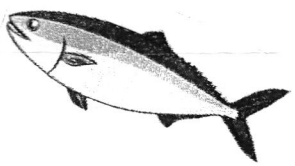
世話人会

十二月に予定しておりました「一泊ワラサ釣り会」が中止となりましたことへのお詫びとご説明をいたします。

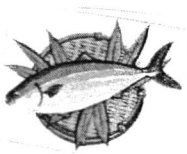
コロナ前までは、早朝の日帰り釣り会よりは肉体的に楽だという理由で、特にご高齢の会員の皆様には好評だった「一泊釣り会」ですが、高齢を理由に退会された理由の増加や、ご逝去された会員もおられ、一泊釣り会はとみに参加希望者が減っておりました。昨年十一月の参加希望者もわずか三人だけでした。したがって、三人以下は釣り会を行わないという内部規定に引っ掛かり、やむなく中止しました。

このままでは、一泊釣り会そのものが毎回中止となりかねないと危惧おります。

何かこれと違う釣り会の考える時期に来ているかもしれません。また広く会員のみなさまにご意見をうかがって対応しようと考えておりますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。



（町田記）



第一回「シロギス釣り会」のお知らせ　世話人会

令和五年度最初の釣り会はシロギスです。身は小さいけれど味は良く、刺身・焼き魚・天ぷら・一夜干し等どれもおいしいのです。釣りやすい魚ですから、日並みの良い日は百匹（一束）釣りも可です。昨年同様、横浜・新山下の「広島屋」で行います。

記

一、期　日　四月十四日（金）

二、船　宿　横浜、新山下「広島屋」　みなとみらい線　元町・中華街駅（徒歩五分）横浜市中区山下一―三―六
電話　〇四五・六二二・八六一五

三、集　合　七時三〇分　船宿

四、参加費　一〇〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、釣り具　竿（負荷一〇～二〇号）リール（小型）錘（十～二十）

六、携行品　クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方　最近は胴付き一本張りの仕掛けで、船下を釣るのが主流である。海底から三十センチ位上までゆっくり探る。錘で海底をたたき、砂を巻き上げて誘う。道糸はいつもたるまさないで張っておく。
スピニングリールの天秤使用の二本バリ仕掛けは、アンダースローで投げ、ゆっくり引き寄せながらアタリを待つ。当たりがあったら軽く合わせ、追い食いをまつ。（エサはイソメを二㎝ぐらいに切って使う）

※申し込み　同封のハガキで申し込んでください。

第六回「イシモチ釣り会」のお知らせ　世話人会

イシモチ釣り会は、金沢漁港の「黒一丸（くろかずまる）」で行い思います。車の方は金沢漁港（金沢区海の公園）に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」の前に七時二十分集合で、若船長が迎えに来てくれます。

記

一、期　日　三月一六日(木)　小雨決行

二、船　宿　金沢漁港（黒一丸）　京急金沢八景駅下車車で一〇分（送迎あり）　電話〇四五・七八一・三五九一
駐車増　一日（三〇〇円）

三、集　合　七時三十分　電車の方は　ローソン前七時二十分

四、参加費　一〇〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、釣　具　竿（負荷十～二十号）・リール（小型）・錘（二十～三〇号）

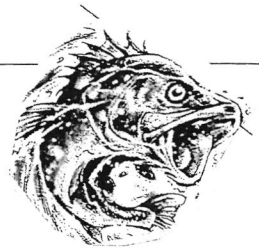
六、携行品　クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方　錘が着底したら、糸ふけを取り、竿を水平に保つ。数十秒ごとに竿を三〇センチ位上げ誘う。当たりは明確だが、すぐに上げず、追い食いを待つ。

※申し込みは同封のハガキで申し込んでください。

退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信　NO, ２０７



２０２３・５・１　　編集　齊藤徳蔵　　会長　町田静隆

釣りクラブ　会長挨拶	・・・・・・・・・	町田　靜隆	1
第６回　「イシモチ釣り会」の報告	・・・・・・・・・	世話人会	2
２０２３年度　釣りクラブ　年間予定表	・・・・・・・・・	世話人会	3
令和４年度　一般会計報告	・・・・・・・・・	世話人会	3
第２回　「アジ釣り会」案内	・・・・・・・・・	世話人会	4
特別会　「一泊イサキ釣り会案内」	・・・・・・・・・	世話人会	4

釣りクラブ会長挨拶

町田　靜隆

会長の町田です。本年も昨年に引き続き、よろしくお願い申し上げます。なお、世話人の先生方は、（敬称略）斎藤　徳蔵、鳥海　重年、藤本　美男です。

さて、本年度は、三年ぶりにコロナの影響なく、月例の釣り会を実施できそうです。第一回「シロギス釣り会」は八名の参加希望者が出ていまして、久しぶりの釣行に皆様、期待が高まっていらっしゃるようです。

令和五年度の釣りクラブでは、引き続き参加人数の減少に対する対策が必要であると思われます。人数が少なくても仕立て船が出せる船宿の開発として、十人そろわないと難しい、荒川屋や吉野屋を外し、金沢漁港の黒一丸や新山下の広島屋という船宿を開発しました。両者とも五人そろえば仕立ての船が出せる船宿です。さらに今年は、新山下の渡辺釣船店をアジ釣り会の時に使いたいと思っております。（数年前のシロギス釣りで使ったことがあります）今後も会員の皆様のご意見を充分頂いた上で、改善できるところは、来年の新年懇談会までに皆様にお諮りできる叩き台をお示ししたいと思っております。また、釣り物に関しても、七月、九月の暑い時期の良い釣り物を検討する必要があるのではと考えております

予定のない一月には、河口湖で温かいドーム船でのワカサギ釣りを追加しました。

今年度も、良い釣り会となりますように、精一杯務めさせていただきますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

さて、私事ですが、４月から勝浦市に移住しようと思っております。住所は、〒２９９－５２２５　勝浦市墨名（となり）２５－３です。電話は携帯の０９０－２９１５－８９５４です。

第六回　「イシモチ釣り会」報告　　世話人会

令和五年三月十六日（木）金沢漁港の黒一丸に仕立てをお願いしてイシモチ釣りを開催した。参加者は町田・藤本・岩森・市川・田中・鳥海の六人。例年よりも温かい天候が続き、釣行当日も朝のうちは肌寒い時間帯もあったが、晴天、微風、気温も二十度近くあり絶好の釣り日和に恵まれた。各自、氷をアイスボックスに詰め込んで八時に出港。まもなく船長の「ここから走りますよ」の声がけとともにスピードが増す。波しぶきがあまりかからないほど穏やかな海だ。期待が膨らむ。三十分ほど走り続けて本牧海釣り施設近く、横浜沖に到着、胴つき二本針、重りは三十号、イソメをつけての竿出し。潮の流れは緩やかで底を取りやすい。重りを底に着けてふけをとりアタリを待つ。すぐに左隣の岩森会員が釣り上げた。間もなくして右隣の町田会員も…。どちらも型のいいイシモチで銀鱗がまぶしい。真ん中の私だけ取り残されたまま時間が経過していく。数分後にようやくイシモチらしい強いアタリがあり、やがてダブルでのアタリもあるなど時間の経つのも忘れて没頭。その後、数回釣り場を変えた。左舷ではベイブリッヂを眺めながらの釣行で景色の良さも味わうことができた。まだまだ釣り続けたい気持ちは強かったが、午後一時三十分に納竿。港へ戻る。黒一丸のスタッフは四〇尾以上釣り上げたようだ。釣りののテクニック等を最初に聞いておけばよかったと反省しきり。餌のイソメはチョン掛けがいいのか房掛けがいいのか、アタリがあったらアワセを入れた方がいいのかそのまま放っておけばいいのか、誘いのテクニックなど…。少しは自分でも試してはみたもののはっきりした優劣は感じられなかった。ただ上の針と下の針では予想した通り下にアタリがあるケースが多く、餌のかけ方を上と下の針で変えても良かったのではないか等、家路についてから考えたこと。

今回の釣行で非常に珍しいというか今まで経験したことがないのは外道がゼロということ。いつもは底もののカサゴなどいくつか混じって当たり前でしたが今回は初めてのケースでした。黒一丸の船長さんが漁場を知り尽くしていたのかもしれません。帰り際に黒一丸の女将さんからいただいた旬のメカブはいいお土産になりました。黒一丸の皆さん、お世話になりました。有難うございました。

帰宅後に早速調理に取りかかる。六尾程をさばいて汁に漬ける。この二月に椿祭りで大島に行った時に白身魚のべっ甲漬けが美味しかったのでつけ汁を買ってきた。そのつけ汁に漬けて食べたのだが最高にうまい。数匹を焼き物に、残りは開きにして干物と冷凍保存に。

メカブは旬のこの時期、なかなか美味しい。湯がいてから包丁で叩いて、とろとろにして食べる。卵を落として混ぜてもなかなかの美味。

コロナ禍も少し遠のいた感があり、心身ともに穏やかな釣行ができたことに感謝！

（記　鳥海重年）

※釣果　イシモチ　：　藤本二十二　岩森十八　平均十四

外道はゼロ

（右舷）藤本・市川・田中
（左舷）町田・鳥海・岩森

二〇二三年度　釣りクラブ年間予定表

四月十四日（金）第一回「シロギス釣り会（新山下・広島屋）
五月一日（月）会報二〇七号発行
五月十二日（金）第二回「アジ釣り会」（金沢漁港・黒一丸）
六月十一・十二日（日・月）「一泊イサキ釣り会」（下田・爪木丸）
七月一日（土）会報二〇八号発行
七月十一日（火）「LT五目釣り会」（腰越・秋田屋）
八月一日（火）新入生歓迎会「ニジマス釣り会」（金森山荘）
九月二日（土）第一回世話人会
九月十五日（金）第四回「イナダ釣り会」（腰越・秋田屋）
十月一日（日）会報二〇九号発行
十月十三日（金）第四十八回「アジ釣り大会」（金沢漁港・黒一丸）
十一月十日（金）第五回「アマダイ釣り会」（腰越漁港・秋田屋）
十二月一日（金）会報二一〇号発行
十二月十七・十八日（日・月）「一泊ワラサ釣り会」（下田・爪木丸）
一月十三日（土）第二回世話人会
一月二十三日（火）「ワカサギ釣り会」（河口湖・浅間丸）
二月三日（土）釣り部　研究・懇談会
三月一日（金）会報二一一号発行
三月十五日（金）第七回「イシモチ釣り会」（金沢漁港・黒一丸）

※前号の　魚・魚貝類のクイズ（回答・解説）を藤本先生にいただきました。紙面の都合で掲載できません。次号に掲載します。お許しください。
（編集委員）

令和四年度　一般会計報告　世話人会

○収入の部
・前年度繰越金　九三、〇三六円
・年会費（二、五〇〇×一四）　三五、五一六円
・本部からの活動補助金　三二、五〇〇円
・賛助金　一〇、五二〇円
・研究懇談会参加費（二、〇〇〇×六）　二、五〇〇円
　一二、〇〇〇円

○支出の部
・活動費（代表渉外、会報編集・発送）　五一、〇九三円
　三五、〇〇〇円
・研究懇談会（会場費・賞品代・飲食費）　一六、〇九三円

○差引残高　四一、九四三円

九三、〇三六 ― 五一、〇九三

令和五年三月三十一日

右の通り報告いたします　世話人会代表　町田　静隆　印
　会計担当　藤本　美男　印

*お願い　本年度も入会される方は、年会費二、五〇〇円を、釣り会または、振込で納入して下さい。ゆうちょ銀行　記号１１３２０　番号　１０２５７８５１　名義人　マチダ　シズタカ

第二回　「アジ釣り会」案内　　世話人会

令和五年度　第二回「アジ釣り会」は、新山下の渡辺釣店で実施したいと問い合わせしましたが、時間が合わず、金沢漁港の黒一丸に、戻して実施します。

記

一、期　日　五月十二日（金）　　小雨決行

二、船　宿　金沢漁港「黒一丸」　京急金沢八景駅下車　車で十分（送迎あり）　電話０４５・７８１・０６９１

駐車料　一日三〇〇円

三、集　合　七時三〇分　電車の方は、荒川屋に向かう途中の元「ローソン」（今改装中で取り壊しています）七時二〇分

四、参加費　１０，０００円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、携行品　クーラー、昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル、

六、釣り具　竿（LT用、貸し竿有り）、小型リール、竿掛け、イワシミンチ用コマセ籠（三十号）中型片天秤、ゴムクッション（三十センチ）

七、釣り方　イカタンや青イソメの餌を付け、コマセかごにミンチを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二m巻き上げてコマセをまく。さらに一m巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に巻き上げ、取り込む。

※　申し込み　　同封のハガキで申し込んでください。

時別会一泊イサキ釣り会」案内　　世話人会

前日には、船宿の温泉に入り、おいしい夕食会が楽しみです。春のイサキ釣りは、抱卵期で食いが活発であり、過去には八十数匹を釣り上げたこともあり、豊漁が期待できます。

記

一、日　時　六月十一・十二日（日・月）

二、集　合　東京駅　九番　踊り子一一五号一号車後ろの指定席
東京駅（十二時００分）→横浜（十二時二十四分）→小田原（十三時一分）→下田（十四時四十八分）
下田駅から送迎あり。

三、参加費　二三〇〇〇円（宿泊費、乗船料、仕掛け、氷代）

四、携行品　クラーボックス、一二日の朝食、飲み物、他

五、釣り具　竿（負荷八〇号）、電動中型リール（電源は船に有）
サニーかご八十号（無料貸し出し有）中型天秤
ゴムクッション（三ミリで一メーター）
指示されたタナまで下ろし、コマセをまいてアタリを待つ。アタリがなければ、一m巻き上げてコマセをまく。同じ動作を繰り返し、上のタナまで行う。アタリがあったら負い食いを待ち、ゆっくり巻き上げ、丁寧に取り込む。

六、釣り方

※　同封のハガキで申し込んでください。

※　町田会長にキス釣り中止のお詫びの原稿をいただきましたが　紙面の都合で掲載できません。（編集委員）